

2024 年度 岡山医療専門職大学 教育課程連携協議会（第 1 回）議事録

1. 日 時:2024 年 11 月 20 日(水) 19:00～20:00
2. 場 所:学校法人本山学園 3 階会議室
3. 出席者:小野俊朗学部長(議長、教職員)、明日徹学科長(教職員)、藤岡晃氏(職業)、青景遵之氏(協力)、河本聡志氏(協力)、中島英彦氏(地域)、大橋芳隆事務長(事務局)、牧田理恵(事務局、議事録作成)
4. 議 題
 - (1) 事業報告
 - ① 教員の異動等について
小野議長より資料に基づき、教員の退職と入職、理学療法学科より作業療法学科への転籍の報告があった。また、理学療法学科 2 名が昇任したことの報告があった。
 - ② 2024 年度在籍学生数、退学・休学者数について
小野議長より資料に基づき、在籍学生数、退学・休学者数について報告があった。
作業療法学科は、2024 年度より定員を 30 名に変更した。今後も退学者減少に力をつくしていくとの説明があった。
 - ③ 保護者会について
小野議長より資料に基づき、2024 年 7 月 21 日(日)に保護者会を開催したことが報告された。
全体説明後に個別相談を実施した。個別相談では、就職についての相談が多く、ブースでの待ち時間が長くなっており、次回は全体で質疑応答をした方が良いとの意見があったが、今後検討をする。
 - ④ オープンキャンパス参加人数実績について
小野議長より資料に基づき、オープンキャンパス参加人数の実績について報告された。参加人数が、今年度 7 月末時点で、昨年度の 1.5 倍に増加しており、今後もオープンキャンパスの参加特典を設けるなどして継続して参加者数を増やしていきたいとの報告があった。
 - ⑤ 総合型選抜選考方法の変更について
小野議長より資料に基づき、総合型選抜選考方法を 2025 年度より「能力」「資質」を客観的、適正に評価できる入試制度に変更したとの報告があった。2024 年度までの入試では、レポート、発表とグループディスカッション、面接を行っていたが、この選考方法では、受験生のプレッシャーも大きく、受験生に本当に能力があるか判定できないため、2025 年度より書類審査、ミニ講義、レポート、面接に変更したとの報告があった。作業療法学科は認知度が低く、受験者数も少ない。充足率を上げるには、作業療法学科の受験者数を増やす必要があるとの報告があった。
 - ⑥ 卒業論文発表会について
小野議長より資料に基づき、2024 年 10 月 30 日(水)に各学科、卒業論文発表会を実施したとの報告があった。
 - ⑦ 卒業試験制度について
小野議長より資料に基づき、2024 年度より実施の卒業試験制度について報告があった。
2024 年度は、卒業試験 1 回目は、2024 年 12 月 11 日(水)、2 回目は、2025 年 1 月 25 日、

RTS は、2025 年 1 月 29 日に実施予定であり、RTS は救済措置として実施することが報告された。RTS が不合格の場合は、留年とする。学生に緊張感を持って国家試験に向けて頑張っているとの説明があった。

⑧ 岡山医療専門職大学地域公開サロンについて

小野議長より資料に基づき、2024 年 6 月 23 日(土)と 8 月 25 日(土)の 2 回、地域の方を対象とした公開サロンが開催されたとの報告があった。また、西川アイプラザで開催された地域防災フェアへボランティアとして学生と教員を派遣した。今後も地域貢献のため、安全に考慮して取り組んでいきたいとの説明があった。

⑨ その他

特になし

(2) 審議事項

① 地域との連携による授業の実施について

河本委員より、作業療法学科では地域と連携して授業をしていると思うが、地域のイベントにいろいろ参加するのは良いと思う。先生方が検診等に出向いてお手伝いするのはどうかと意見が出た。結果が出るまで大変だが地道な努力が先々生きてくるのではないかと。

② その他

特になし

【意見交換】

小野議長: 認証評価でも文部科学省の AC でも作業療法学科の充足率、認知度を上げるには、どうしたらいいかと聞かれるが分からない。全国的なものだと思う。

中島委員: 併願制度にしてはどうか。どこの学校も作業療法学科は定員割れしている。入学して勉強して資格をとって社会に出れば良さは分かってくると思う。入学する段階では、そこまでは至っていない。とりえずセラピストというところに目を向けられるようにしていければいいと思う。

河本委員: 川崎も定員割れしている。リハ職そのものになりたいと思う子供たちが減ってきている。

青景委員: 昔は倍率が高かった。高校生にとって作業療法学科の認知度が低い、一つの大学としてアプローチするのは難しい。今回オープンキャンパスで参加人数が増えていますが、オープンキャンパスでの取り組みとかありますか。

小野議長: 1 期生が卒業して国家試験の合格率が出ている。今までは大学としての認知度がなかったが、数字が出たというはある。

青景委員: オープンキャンパスが増えているというのは、少しでも知名度が広がっているということではないか。まずはオープンキャンパスを増やさないと増えていかない。地道で大変だと思うがそこを頑張っていないといけない。地域の活動はとても良いと思う。地域の方に来ていただくことが重要。地域の方にメリットになることをやって、地域の方からここにこういう大学があるということに広がっていくと思う。

中島委員: 地域公開サロンは市の協賛をとられていますか。川崎なんか市協賛をつけているから、市の広報に掲載される。岡山市に言えば通ると思います。あと在校生の出身はどこですか。

大橋事務長:7割が県内。香川、兵庫、広島、鳥取、福井。県外はもっと増やしていくことが必要かなと思います。

中島委員:いくつかの学校に行っているが、県内出身が多いなという感じです。姫路駅の近くにある OT と ST と救命救急士の学校ですが、OT は定員 40 名で 37 名。ほぼ定員を満たしている。そこも 8〜9 割は県内の学生。姫路駅から学校まで屋根がついていて傘がいらない。地の利もあるが、県内の学生が集まりやすい。また、学生にお金をかけさせないよう教科書を指定しておらず、購入させていない。その代わり資料を充実させている。新幹線のホームに降りて学校まで 6 分です。

大橋事務長:うちも便利だとは思う。

河本委員:SNS を拝見したが、広報の方で、更新されているのか。インスタグラムと facebook をされていますね。出す頻度が、「たくさん出ているな」という学校さんに比べると少ないと思う。

大橋事務長:理事長もホームページに力を入れていく方針なので、Web を強化していこうと思っている。

中島委員:駅からのロケーションとかをするといいのでは。

大橋事務長:授業風景とか動画で配信している。

河本委員:学生は、ホームページにはあまりアクセスしない。勝手に情報が飛んでくるような時代ですから。見る側はそちらを使う。

中島委員:学生は常時見えています。

河本委員:最近の投稿が 7 月 29 日となっています・・。

藤岡委員:受験シーズンですから。Youtube は出されていないんですかね。

大橋事務長:常時はやっていない

藤岡委員:高校生が見ているのは Youtube です。入院患者の子供もほとんど Youtube を見ている。そこで検索したりしてひっかかればいいんですが。Youtube 広告とかはどうでしょうか。

【学長への意見の概要】

地域との連携による授業やイベントの実施について、時間はかかるが、本学の認知度を上げるためにももう少し増やすことをご検討いただきたい。

2024 年度 岡山医療専門職大学 教育課程連携協議会（第 2 回）議事録

1. 日 時:2025 年 3 月 17 日(水) 19:00～20:00
2. 場 所:学校法人本山学園 3 階会議室
3. 出席者:小野俊朗学部長(議長、教職員)、明日徹学科長(教職員)、荒尾賢氏(職業)、藤岡晃氏(職業)、青景遵之氏(協力)、河本聡志氏(協力)、瀧上正康氏(地域)、中島英彦氏(地域)、本山康代事務局長(教職員)、大橋芳隆事務長(事務局)、牧田理恵(事務局、議事録作成)
4. 議 題
 - (1) 報告事項
 - ① 卒業試験の実施について
小野議長より資料に基づき、2024 年 12 月 11 日(1 回目)と 2025 年 1 月 15 日(2 回目)の卒業試験実施の報告があった。
 - ② 卒業式の挙行について
小野議長より資料に基づき、学位記授与式が 2025 年 3 月 14 日(金)11:00～12:00 に挙行され、理学療法学科は、48 名、作業療法学科は 16 名が卒業したことの報告があった。
 - ③ 国家試験結果(自己採点)及び就職内定状況について
小野議長より資料に基づき、2 月 25 日に実施された国家試験の自己採点結果について、理学療法学科は、95.9%、作業療法学科は、87.5%との報告があった。内定率については、理学療法学科は、89.6%、作業療法学科は、86.7%で、様々な病院等に就職しているとの報告があった。
 - ④ カリキュラムツリーの作成について
小野議長より資料に基づき、カリキュラムツリーの作成とオリエンテーション時、学生へ周知を行ったとの報告があった。
 - ⑤ シラバスの改訂 - 新年度より適用について
小野議長より資料に基づき、2025 年度よりシラバスの改訂を行い、到達目標欄、関連卒業認定、学位授与方針、事前事後学習内容・必要時間の記載内容が変更になったとの報告があった。
 - ⑥ 専門職大学分野別認証評価(リハビリテーション分野)審査結果について
小野議長より資料に基づき、分野別認証評価結果が、専門職大学評価基準を構成する 22 の基準をすべて満たし、適合となったとの説明があった。また、優れた点、特色ある点、改善が望ましい点についても説明があった。結果については、3 月末に公表予定である。
 - ⑦ その他
特になし

(2) 審議事項

① 「岡山経営者論」の開講年次について

荒尾委員より「岡山経営者論」は、認証評価で評価されているので、実地調査の際に学生の意見もあったが、今後も望ましい開講年次に開講してもらいたいと意見があった。

小野議長より「岡山経営者論」は、他学になく、様々な所で評価されている。学生の一部から4年次開講について、もう少し早い時期に開講して欲しいとの意見もある。広い視野を持って経営のトップの方にお話を聞くことが出来るので、今後も充実させていきたい意向である旨説明があった。

② 教育課程:教員資格必修科目について

小野議長より既に教育課程連携協議会で討議し、設定することが決まっているが、「心理学」、「哲学概論」は、1年前期の選択科目であり、毎年、「心理学」の受講者数が多く、「心理学」が教員資格の必修科目と周知した場合、「哲学概論」の受講者がより少なくなる可能性を示唆された。

明日学科長より将来教員になる為には、教育学科目の単位を4単位取る必要がある。そうしなければ、長期の教員研修を受ける必要がある。現時点では、希望している学生はいないが、将来検討している学生はいるので引き続き検討が必要である。

③ ICT教育について

中島委員より学生がタブレットを利用することも多いが、こちらでは、教科書や資料はどのようにしているのかと質問があった。

小野議長より卒業生アンケートで教科書が多すぎるとの回答もあり、電子書籍も多くなっているので、今後の検討事項である。

本山事務局長よりタブレットについては、諸外国では禁止しているということもある、と意見があり、本学になじむかどうか検討が必要であることが周知された。

④ 理学療法学科について

本山事務局長より理学療法学科にスポーツに関心のある学生が多数いるため、スポーツに特化した教育課程を編成してはどうかと意見があった。委員の中から、理学療法士の中にはトレーナーもいて興味のある学生もいるのでコースなどで学べるのも良いのではないかと意見があった。

④ その他

なし

(3) 学長への意見の概要

次の①～④の事項について検討をお願いしたい。

①岡山経営者論の開講年次変更

②教員資格必修科目の設定

③教科書のICT化

④スポーツに特化した教育課程の編成